

鈴木さんの言葉

51

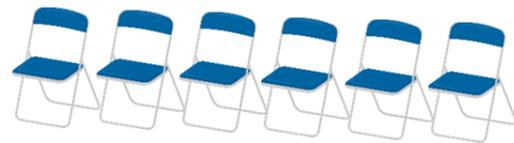


先日、鈴木一朗さんが北海道の高校を訪問したニュースがありました。鈴木さんの言葉で印象に残ったものがあったので紹介します。

「指導者、厳しくできないって。時代がそうなっちゃって。(中略) 今、自分を甘やかすことはいくらでもできちゃうよね。でもそうやってほしくない。いずれ苦しむ日が来るから、大人になって社会に出てから。できるだけ自分を律して厳しくする。(後略)」

以上、何か伝わりましたでしょうか。

いすは何脚でしょう



今年度の全国学力学習状況調査、小学校算数の問題で、次のような問題が出ました。

いすを1列に50きやくずつ、40列並べるとすると、全部のいすの数は、 50×40 で求めることができます。
いすは全部で何きやくになりますか。答えを書きましょう。

問題中にもありますが、計算は

$50 \times 40 = 2000$ 答え 2000 きやく となります。

さて、この問題、泉南市の子どもたちの正答率は何%だと思いますか。
結果は…74%でした。受験者数が約500人でしたので、正答者は約370人です。誤答で最も多かったのは、「200」と答えた子で、約95人。中には、「20」や「20000」、「90」と答える子もいました。

実はこの問題は、3年生の学習内容です。

泉南市の全国学力学習状況調査結果はこちらから→



お家での日常会話に算数を

お駄賃にぎって、駄菓子屋へ。そんな姿を見ることもめっきり減りました。近所で買い物をする事も少なくなり、支払いは電子マネーで。「お年玉を電子マネーで振り込んでもらった。」そんな声が聞こえてくるほどです…。こどもたちが日常生活の中で計算したり、数の概念を使ったりする機会が減ってきています。

機会が少なくなっているなら、意識的に機会を作ってあげること。数の概念や数のイメージを日常的に持つことで、算数の理解力に影響を与えることができると思います。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL: 072 (483) 3673